

Press Release



2016年8月3日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは7月26日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

販売量と収益がさらに増加

コベストロ、力強い第2四半期

- 主要製品の販売量は前年同期比で7.7%増
- 特別項目計上前 EBITDA は前年同期比8.8%増の5億4千2百万ユーロ
- 純利益は前年同期比で51.3%増
- バイエルからの融資は全額返済
- 2016年度通年の見通しを上方修正

ドイツ・レバクーゼン、2016年7月26日ー

2016年4月から6月までの期間、素材メーカーのコベストロは本年度の第1四半期に引き続き成功を収めました。特別項目計上前 EBITDA は、ポリウレタン事業部およびポリカーボネート事業部の主要製品の販売量が増加し、前年同期比8.8%増の5億4千2百万ユーロとなりました。グループ全体でも、2016年度の第2四半期における主要製品の販売量（単位：キロトン）は前年同期比7.7%と大幅な増加となりました。

「第2四半期は力強い業績を記録しました。第1四半期に引き続き好調な業績を継続しています。工場の稼働率が改善された結果、主要製品の販売量が伸び増収となっています。2016年度の上半



期の好調な動向を受け、通年の見通しを上方修正しています」と CEO のパトリック・トーマスは述べました。

コベストロは、主要製品の販売量は通年で一桁台半ばから後半の伸びを予測しています（従来予測：一桁台半ば）。フリー・オペレーティング・キャッシュフローは前年度と同レベル程度を予測しており（従来予測：高水準で推移し、過去数年間の平均を上回る）、使用資本利益率（ROCE）は前年度を上回ると見込んでいます（従来予測：資本コストを上回る）。2016 年下半期の EBITDA は、少なくとも 2015 年度の同時期のレベルに達すると見込んでいます。

増収、売上高は減少

グループの第 2 四半期の売上高は、前年同期比 6.9%減の 29 億 9 千万ユーロとなりました。この主な原因は、すべての事業部、特にポリウレタン事業部における販売価格の低下です。これは主に原材料価格の低下によるものです。グループの売上高は、為替のマイナス影響をわずかに受けています。

グループの売上高の低下にもかかわらず、純利益は前年同期比で 51.3%増の 2 億 3 千万ユーロとなりました。フリー・オペレーティング・キャッシュフローは第 2 四半期には 3.0%増とわずかに伸び、2 億 3 千 7 百万ユーロになりました。

計画通り、コベストロは第 2 四半期にバイエルからの 8 億 1 千万ユーロの融資残高を完済しました。2015 年 12 月 31 日のレベルと比較すると、コベストロは、有利子負債を 29 億ユーロから 22 億ユーロと大幅に削減し、企業の財務プロフィールをさらに改善しています。

全ての事業部で好調な動向

第 2 四半期において、ポリウレタン事業部はトルエンジイソシアネート（TDI）とメチレンジフェニルジイソシアネート（MDI）の製品グループに牽引され、主要製品の販売量が 9.0%の大幅な増加となりました。ポリエーテルポリオール（PET）製品グループは、主要製品の販売量がわずかに伸びています。特別項目計上前 EBITDA は主として販売量が伸びた結果、2.2%増の 2 億 2 千 8 百万ユーロとなりました。利益率の低下および販売価格と原材料価格の低下は、収益にマイナス影響を与えています。

ポリカーボネート事業部についても、主要製品の販売量が前年同期比で 8.5%増と大幅に伸びました。主要製品の販売量は、3 つの地域、特にアジアパシフィック地域で伸び、ほぼすべての顧客



の産業で販売量が増加しました。特別項目計上前 EBITDA は、販売量と利益率の増加により 27.3%増の 1 億 9 千 1 百万ユーロとなりました。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業部の主要製品の販売量は、2015 年の第 2 四半期に記録した力強い伸びと比較するとわずかに 1.8%減少しました。2016 年の第 2 四半期は予想通り取引の契約終了による影響があったためです。特別項目計上前 EBITDA は、原材料価格の低下というプラス効果によって 3.6%微増し、1 億 4 千 2 百万ユーロとなりました。

上半期は成功

全体として、コベストロの 2016 年上半期は好調な結果を記録しました。主要製品の販売量は、2015 年上半期に対して 8.1%増となりました。また、特別項目計上前 EBITDA は、14.9%増の 11 億ユーロとなりました。上半期の売上高は、すべての事業部において販売価格が低下した影響で前年同期比で 6.4%減の 59 億ユーロとなりました。為替のマイナス影響をわずかに受けています。コベストログループの純利益は、54.3%増と大幅に改善し、4 億 1 千 2 百万ユーロになりました。

.....

コベストロ社について

コベストロ社は 2015 年度売上高が 121 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気/電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストロ社（旧バイエルマテリアルサイエンス社）は、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 2015 年末で約 15,800 人です。詳しくはこちらをご覧ください。 covestro.jp

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 23F

広報部 梅澤 Tel:03-6250-7079 / Fax:03-5219-9706



コベストログループの主要データ

	2015年 第2四半期 (百万ユーロ)	2016年 第2四半期 (百万ユーロ)	前年比 %	2015年 上半期 (百万ユーロ)	2016年 上半期 (百万ユーロ)	前年比 %
主要製品販売量	+6.7%	+7.7%		+4.2%	+8.1%	
売上高	3,210	2,990	-6.9	6,264	5,865	-6.4
EBITDA ※1	439	542	+23.5	832	1,050	+26.2
特別項目計上前EBITDA ※2	498	542	+8.8	914	1,050	+14.9
EBIT ※3	267	364	+36.3	473	704	+48.8
特別項目計上前EBIT ※4	327	364	+11.3	578	704	+21.8

- ※1 金利・税金・償却前利益
- ※2 特別項目計上前の金利・税金・償却前利益
- ※3 金利・税引前利益
- ※4 特別項目計上前の金利・税引前利益

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト (www.covestro.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。